

「ならなぎ」外部案内 報告書

報告者： 玉尾 洋一

日時	2024年6月4日(火) 14時20分～15時10分	天候	曇り	コース名： 興福寺再発見(一部省略)
案内団体	名古屋高齢者大学校 鯖城学園 重要文化財を観る会		人数	大人：38名

(実施状況：リーダー、班編成、対象者の反応、質問など)

- ・参加者： 38名
- ・リーダー： 池田、服部、中谷、玉尾(ひ)、玉尾(洋)
- ・受付対応： 興福寺中金堂で待ち合わせた。
- ・配布資料： なし
- ・案内概要： 午前空海展を鑑賞後、14時すぎに興福寺駐車場に到着し、案内後中金堂と国宝館を鑑賞され、16時に名古屋に向け出発の予定なので、案内時間が少なく興福寺の伽藍を簡単に案内した。団体名で分かるように仏像については良く知っておられた。

(所感・雑感・反省点、申し送り事項など) 敬称略

【池田】本日案内させて頂いたお客様は、女性6名、男性1名の班になりましたが、女性で杖が必要な方が1名おられましたので、バスしたポイントも有りましたが押した時間の中、ポイント説明にもうなずきながら聞いて頂きましたので、それなりの案内が出来たのかなと感じておりますが、最後は尻切れトンボ状態で終わることになり、願わくば後20分時間が欲しかったです。

【服部】女性6名を案内しました。私の班の方は「興福寺は何度か来られたことがありますか？」と聞くと「興福寺は小学校の時に来ました。」と答えられていました。しかし、重要文化財を見学学習している方々らしく、「西は奈良・京都、東は静岡へ行って学習しています。奈良は唐招提寺や薬師寺に行きました。」とのことでした。藤原氏の話はよく知っておられて、興福寺の話はすんなりと理解されていました。非常に熱心に話を聞いてくれる方々だったのでとてもやりやすく、冗談にも乗ってくださって楽しく案内できました。最後には「ありがとうございます。良く分かりました。またね。」とハイタッチして別れました。ただ、

①14時10分から案内の予定が15分に到着されて、中金堂の前で集合写真を撮られていたので、予定より時間が少なくなり、かなり端折っての案内になったこと。(五重塔・東金堂の話がほとんどできなかった)

②南大門跡の階段を登れない方がいたので、五重塔の方を回らざるを得なかったこと
③五重塔の工事がだいぶ進み上の方しか見ることができず、また、大きなクレーンでの工事の音、絶えず行き来する工事車両、狭い通路、雑然としている、など落ち着いて案内できないこと。

など課題もある案内でした。

【玉尾ひ】短い時間内で、いかに説明するか迷いながらの案内でした。予想とは大違い！「重要文化財を観る会」のメンバーで、知識はかなりの方々でした。質問形式の案内に切り替えて、楽しく回ることにしました。五重塔の高さ、弥勒菩薩と弥勒如来の違い、すべて詳しくご存じで、びっくりしました。

「玉尾さんは国宝がこんなにある関西に住んでおられるのは幸せですね！感動を伝える会、羨ましいです」との言葉がすごく心に残りました。

【玉尾洋】8名を案内しました。一人の方が良く知っておられ、何回も奈良へは来られていると言われてました。北円堂や東金堂は拝観したことがあり、南円堂は年1回なので、まだとの事。案内時間が少なかったが、団体さんの目的を知っておれば、仏像を主に説明ができたのに残念でした。前もって案内の主旨を確認すべきと実感しました。

【中谷】 予定より 10 分遅れて皆さんのが到着した。既に斑分けが出来ていたので、円滑にスタートできた。ただ予定より 10 分遅れていたので、時間に制約がある中かなり焦って説明を始めた。奈良が初めての方が 2 人、何回来られている方が一人おられた。他の斑と重ならないよう中金堂から東金堂、五重塔と話し始めた。ただ五重塔の工事のため通路が狭くなってしまっており、東金堂の前も塀で覆われていたため、五重塔前でこれら三つの説明をせざるを得なかった。この後般若の芝、南円堂、北円堂、西金堂と説明をして 15 時 5 分に西金堂跡で説明を終え、最初の五重塔前で終わり挨拶をして中金堂拝観入口まで案内して別れた。

こちらの説明に対して頷きながら聞いている人がいたので、ある程度の知識はあると思った。法相宗のお寺は他に何処があるか質問され答えられなかった。若宮おん祭のお渡りの時雅楽を奏していたと話されたが、そうですかとしか言えなかった。般若の芝が芝居の語源という話しに驚かれ方が数人いた。

特記事項)

- ・会計報告

【収入】： 協力金： 5000 円

【支出】： 活動費： 池田、服部、中谷、玉尾（ひ）、玉尾（洋） 各 1000 円

配布先：代表、副代表、事務局長、リーダー全員、担当班長、会計